

令和5年度社会福祉法人丹後福社会事業報告

社会福祉法人丹後福社会が設立後40年の節目を超え新しい歩みを始めた令和5年度でしたが、私たちを取り巻く地域の社会環境は、少子高齢化の進行、コロナ禍の影響が残る人間関係の希薄化、世界の複数の地域で起きている紛争等による社会経済への影響など、引き続き厳しい状況にあります。

そのような中であっても、法人が理念に掲げる「お一人おひとりを大切に、質の高いサービスの提供により、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりに貢献させていただきます」を基本とし、法人の事業状況の再点検を行い、令和5年度からの3年間の期間とした第三期中期経営計画を基に、将来の法人と地域社会のあり方を適切に見極め、地域とともにある福祉施設として取組を進めているところです。

令和6年1月1日に発生した能登半島地震は大災害となり、多くの皆様が被災され復興にも大変なご苦労をされていますが、これらのことは、福祉事業所が災害時にとるべき対応を適切に行うための教訓を示す結果となっており、BCP（業務継続計画）の重要性を改めて認識することとなりました。当法人では5年度に自然災害発生時におけるBCPを策定しましたので、これを実効性があるものにするため、災害時の対応の確認や備蓄品の確保などの取組を進めているところです。

施設関係では、ご利用者の皆さんにはより安全・安心の生活を過ごしていただくことに合わせ、より良いサービスを目指し業務の効率化や改善等を進めるため施設改修等を行っており、主なものとしては、第二丹後園2階交流スペースとケアハウス1階の空調設備の改修工事、道路側溝改修工事、第二丹後園事務所増築工事を行いました。

また、浜詰デイサービスセンターをはじめ老朽化により運営に支障が出てきている施設もありますが、大規模な整備には多額の財源が必要になるため、今後のサービスと施設の在り方と財政負担を法人全体として検討し、サービスの見直しも行っているところです。

職員体制については、福祉職場の人材不足は大変厳しく、退職数を採用により補充できない状況が続いており、年間を通して職員募集を行っているものの、職員の確保は今後の事業運営にとって大きな課題となっています。そのため、今後も充実したサービス提供を行っていくためには職員個々の力量を引き上げていくことが重要であり、研修への積極的な参加と内部研修の充実により人材育成に努めているところです。

重点事項

1 <地域における福祉サービスの充実に取り組みます。>

- ・多様化するニーズへの対応力の強化など、お一人おひとりに合ったケアの充実に取り組みます。

ご利用者の個別ケアの推進のため、アセスメントやモニタリングを丁寧に行い、ご利用者の自立支援を意識した計画作成を行うなど、ご利用者が生きがいを感じ、楽しく安心して過ごせるよう、生活の質の向上に向けた取組を実践してきました。

また、法人内での認知症、ユマニチュードや看取りケアの研修会や勉強会、地域への福祉や介護の普及啓発活動や学校への学習会等を実施しました。

- ・社会資源の状況を把握し積極的に地域とつながりを持つとともに、行政・関係機関と連携し、地域住民の暮らしを支えます。

福祉事業所としての機能や特色を生かし、地域活動への積極的な参加を心掛け、相談窓口の強化など、地域に開かれた事業所となるよう努めています。

作成したBCP（業務継続計画）を基に、行政・地域との連携を図り、災害時等にどのような状況になっても適切な対応ができ、サービスを継続的に提供できる体制づくりの取組を進めています。

2 <職員の質の向上に努め、誇りをもてる職場づくりを進めます。>

- ・職員の経験や能力に合わせたキャリアアップの取組を進めます。

職員の資質向上の取組として、新人職員に対し育成計画を作成し研修を行うとともに、新人以外の職員にも研修計画を作成し、キャリアパス・職位に応じた研修への参加や職員の希望する研修に参加してきたことでモチベーションの向上にもつながっています。また、幅広い知識を持つ専門性の高い職員の育成に努めるとともに、研修したことを現場に活かす取組も進めています。

また、看護職員確保のため、現職員が看護師資格取得のため修学するための費用を支援するための奨学金貸与職員雇用要綱を制定し、次年度から育成に取り組むこととし、介護職員を確保するための方策として、外国人技能実習生の検討を行い、次年度から受け入れを予定しています。

- ・職員が安心して働ける事業所を目指します。

心身の負担やストレス軽減のため休暇を増やすとともに、給料表の改訂、緊急処遇改善手当の創設など、処遇改善を進めました。

若い職員が法人運営について関係する会議等への参加について、取組ができていないため改めて検討を行います。

3 <施設等の整備に努めます。>

- ・福祉ニーズ及び施設の現状を把握し、将来の施設サービスの在り方の検討を進めます。

施設の安全性や利便性を確保することを目的に必要な改修を行っていますが、老朽化のため改修に時間を要するものや、多額の費用を伴うものなどがあるため、各事業所の状況を踏まえ、法人全体としての施設サービスの在り方や内容の検討を進めています。

また、老朽化が著しい浜詰デイサービスセンターについては、休・廃止を含めた事業の見直し、新たな施設の整備など、具体的な検討を進めています。

特養部 事業報告

事業所名 特別養護老人ホーム丹後園

1. 施設利用稼働率（前年度対比）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和4年度	96.4%	97.9%	98.7%	100.0%	100.0%	99.1%	
令和5年度	100.0%	97.4%	98.0%	99.2%	97.5%	99.5%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
令和4年度	98.8%	98.3%	96.3%	99.4%	100.0%	100.0%	98.7%
令和5年度	98.6%	95.7%	98.0%	98.3%	98.3%	99.7%	98.4%

2. 介護度別利用延べ人数（前年度対比、年間計）

	要介護Ⅰ	要介護Ⅱ	要介護Ⅲ	要介護Ⅳ	要介護Ⅴ	計
令和4年度	0	365	2,827	10,876	3,951	18,019人
令和5年度	0	122	2,936	9,771	5,167	17,996人

3. 介護度別入所者数（前年度対比、3月31日現在）

	要介護Ⅰ	要介護Ⅱ	要介護Ⅲ	要介護Ⅳ	要介護Ⅴ	平均介護度
令和4年度	0人	1人	7人	30人	12人	4.1
令和5年度	0人	0人	8人	25人	16人	4.2

4. 年齢階級別入所者数（3月31日現在）

60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳
0人	0人	2人	2人	8人
85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	平均年齢
9人	11人	11人	6人	90.7歳

5. 入院・通院状況

入院状況 年間入院者数合計11人（令和4年度：11人）

病院名	診療科目	入院者数
京丹後市立久美浜病院	内科	4人
京丹後市立弥栄病院	内科	5人
	整形外科	1人
丹後中央病院	整形外科	1人

通院状況 年間受診者数合計 110人 (令和4年度：87人)

病 院 名	診 療 科 目	受 診 者 数
丹後ふるさと病院 46人	甲状腺科	4人
	眼科	4人
	歯科	21人
	神経内科	6人
	循環器科	2人
	胃ろう交換	2人
	CT検査	7人
京丹後市立久美浜病院 21人	救急	6人
	泌尿器科	8人
	皮膚科	4人
	内科	3人
京丹後市立弥栄病院 10人	救急	3人
	整形外科	1人
	皮膚科	4人
	内科	2人
丹後中央病院 5人	救急	2人
	整形外科	3人
たちばな診療所 22人	歯科	22人
福井クリニック 5人	泌尿器科	5人
京都府立北部医療センター 1人	神経内科	1人

6. 終末支援の状況 年間終末期支援者合計 4人 (令和4年度：7人)

氏名	年 齢	入 所 年 月 日	退 所 年 月 日	病状・病名
A	99歳	平成27年4月28日	令和5年5月23日	老衰
B	100歳	令和3年1月29日	令和5年8月14日	老衰
C	90歳	令和3年2月9日	令和5年11月4日	腎不全
D	95歳	平成9年7月1日	令和6年2月18日	大腸癌

7. 退所の状況 (男性4人・女性6人 計10人) (令和4年度：12人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0
女	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	2	1
計	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	3	1

退所の内訳

	男	女
死亡 (当該施設)	3人 (内看取り0人)	5人 (内看取り4人)
病院	1人	1人

8. 年間行事等報告

月別	実施行事等	月別	実施行事等
4月		10月	消防訓練 夜間想定避難訓練 カニ焼き屋 来園
5月	たい焼き屋 来園	11月	
6月	消防訓練 日中想定避難訓練	12月	クリスマス会
7月		1月	新年会
8月	夏を感じる会	2月	節分
9月	敬老祝賀会	3月	

9. ボランティア、クラブ活動状況

感染症が落ち着き、今年度は5月から毎月1回定期的にハーモニカボランティア活動の受け入れを行うことができました。外部の方たちとの触れ合いや、懐かしい歌を口ずさむことで、楽しい時間を過ごしました。

10. 介護事故・ヒヤリハット報告

介護事故報告数	ヒヤリハット報告数
1件	241件

介護事故は転倒による骨折が1件でした。

ヒヤリハットの件数は前年度に比べ減少しています。中でも転倒・転落・ずり落ちの件数が大幅に減少していますが、この理由としては「眠りスキャン」により動き出す様子が早い段階で把握でき、事故を未然に防ぐことができていると思います。その他、皮膚剥離や内出血は例年と同じく多く目立ちました。移乗などの介助方法の見直しや日々のスキンケアに引き続き努めていきたいと思っています。

11. 特別養護老人ホーム丹後園 事業報告（総括）

改修後の新たな環境の中で始まった令和5年度でした。5月からはコロナウイルスが5類へ移行し、面会は居室で可能となったのも束の間、コロナウイルスの罹患者が続き、現在でも面会は制限下のみであり、自由に家族と交流できない状況が続いています。

一方、コロナウイルスの罹患者が確認されると、直ぐにゾーニングなどの適切な感染症拡大防止対応を行い、拡大することなく収束することができ、これまでの経験を十分に活かすことができました。

新たな取り組みとしては、介護職員のスキルアップに向け、特養内委員会が中心となり、学びたい内容の検討、勉強会の企画、準備、実施までも責任を持ち行っていくことで、委員会職員の意識は高いものになりました。

また、8月から看護師の夜間待機の業務負担軽減のため、夜間オンコール代行業者と業務委託契約を行い、その導入が始まりました。新たな取組に対し現場の不安はありましたが、大きな混乱も無く、スムーズに移行することができ、気になる時には気軽に相談ができています。

今年度は、残念ながら職員の接遇に対する苦情が続きました。次年度は初心に立ち返り、介護職の基本姿勢について再度勉強していく必要があります、併せて観察力・記録力・伝達力という基本的な部分も高めていくことが課題と考えられます。

今後も、ご利用者、ご家族にとって安心・安楽で居心地の良い生活の場となるように努めていきたいと思えます。

事業所名 特別養護老人ホーム丹後園（短期入所事業）

1. 施設利用稼働率（前年度対比）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和4年度	102.5%	87.1%	86.7%	16.9%	—	5.8%	
令和5年度	90.8%	102.4%	98.3%	98.4%	107.3%	100.8%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
令和4年度	—	—	—	63.7%	85.7%	84.7%	—
令和5年度	112.1%	115.8%	97.6%	91.9%	101.7%	98.4%	101.3%

※ 令和4年度は、改修工事に伴い稼働していない期間があったため、平均稼働率は算定していません。

2. 介護度別利用延べ人数（前年度対比、年間計）

	要支援 1	要支援 2	要介護 I	要介護 II	要介護 III	要介護 IV	要介護 V	計
令和4年度	0	0	27	100	290	211	15	643人
令和5年度	0	0	61	163	729	504	10	1,467人

3. 特別養護老人ホーム丹後園（短期入所事業） 事業報告（総括）

4月には峰山町内の短期入所事業所休止に伴い、峰山町内のショート利用希望者2人の受け入れを行いました。代替えサービスが利用できるようになったため、一時的な利用となりました。その後、現在は峰山町の1人の方の受け入れを行っています。利用者の急な入院やキャンセルで空きが埋まらないことや、コロナウイルス感染対応に伴い、年末年始にはやむを得ずショート受け入れを中止することがありましたが、空床利用や緊急ショートの受け入れを積極的に行うことで、全体的には高い稼働率を維持することができました。

今後についても、他サービス事業所と連携しながら、地域のお困りの方々の支援を行っていただけるよう、安心・安全・安楽なサービスの提供に努めていきたいと思えます。

第二特養部 事業報告

事業所名 特別養護老人ホーム第二丹後園

1. 施設利用稼働率（前年度対比）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和4年度	100%	98.2%	99.1%	99.9%	100%	100%	
令和5年度	98.4%	99.4%	98.6%	99.4%	99.8%	99.5%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
令和4年度	98.8%	99.1%	97.5%	96.9%	97.4%	95.8%	98.6%
令和5年度	100%	99.2%	99.4%	97.7%	98.3%	99.4%	98.6%

2. 介護度別利用延べ人数（前年度対比、年間計）

	要介護Ⅰ	要介護Ⅱ	要介護Ⅲ	要介護Ⅳ	要介護Ⅴ	計
令和4年度	0人	0人	1,314人	12,153人	4,467人	17,934人
令和5年度	0人	0人	2,096人	11,072人	5,084人	18,252人

3. 介護度別入所者数（前年度対比、3月31日現在）

	要介護Ⅰ	要介護Ⅱ	要介護Ⅲ	要介護Ⅳ	要介護Ⅴ	平均介護度
令和4年度	0人	0人	5人	34人	11人	4.1
令和5年度	0人	0人	6人	30人	14人	4.2

4. 年齢階級別入所者数（3月31日現在）

60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳
0人	0人	0人	1人	4人
85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	平均年齢
10人	14人	13人	8人	93.3

5. 入院・通院状況

入院状況

年間入院者数合計13人（令和5年度：7人）

病 院 名	診 療 科 目	入 院 者 数
丹後中央病院 4人	消化器内科	1人
	内科	2人
	循環器内科	1人
京丹後市立弥栄病院 3人	内科	1人

		整形外科	2人
京丹後市立久美浜病院	5人	内科	5人
京都府立北部医療センター	1人	消化器内科	1人

通院状況

年間受診者数合計 145人（令和5年度：94人）

病 院 名		診 療 科 目	受 診 者 数
丹後中央病院	45人	整形外科	10人
		内科	1人
		皮膚科	15人
		循環器内科	3人
		消化器内科	1人
		耳鼻科	11人
		救急外来	2人
		胃ろう交換	2人
京丹後市立弥栄病院	40人	整形外科	6人
		婦人科	2人
		総合診療科	5人
		神経内科	7人
		皮膚科	4人
		救急外来	1人
		精神科	15人
京丹後市立久美浜病院	22人	皮膚科	12人
		泌尿器科	2人
		外科	2人
		救急外来	6人
丹後ふるさと病院	22人	婦人科	8人
		内科	3人
		皮膚科	2人
		C T	5人
		歯科	2人
		眼科	2人
たちばな診療所	2人	歯科	2人
京都府立北部医療センター	5人	精神科	4人
		救急外来	1人
ふくい腎・泌尿器科クリニック	6人	泌尿器科	6人
上田医院	3人	検査受診	3人

6. 終末支援の状況 年間終末期支援者合計4人（令和4年度：4人）

氏名	年齢	入所年月日	退所年月日	病状・病名
A	90歳	平成19年9月17日	令和5年4月13日	老衰
B	93歳	令和3年7月20日	令和5年5月2日	老衰
C	93歳	令和2年6月6日	令和5年9月9日	老衰
D	94歳	平成27年3月25日	令和6年3月10日	老衰

7. 退所の状況（男性2人・女性11人 計13人）（令和4年度：10人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
女	1	1	0	0	1	2	0	2	1	0	2	1
計	2	1	0	0	1	2	0	2	1	1	2	1

退所の内訳

	男	女
死亡（当該施設）	0人	5人（内看取り4人）
病院	2人	6人

8. 年間行事等報告

コロナ感染前に比べ、行事企画や家族会、季節に合わせた行事の多くが実施できませんでしたが、感染防止を心がけた上で、第二丹後園全体で楽しめる行事を企画することができました。

また、定期的に業者による菓子販売、訪問理美容、訪問ネイルなど、ご利用者の楽しみにつなげられる取り組みをおこなうことができました。

月別	実施行事等	月別	実施行事等
4月	お花見（ユニットごと）	10月	消防訓練 不審者対応訓練 運動会 感染症発生時対応訓練
5月	春の茶会 母の日企画（ユニットごと）	11月	焼き芋企画
6月	消防訓練 父の日企画（ユニットごと）	12月	感染症発生時対応訓練 Xmas企画（ユニットごと） 忘年会（ユニットごと）
7月	七夕企画 カレー企画	1月	新年会（ユニットごと）
8月	夏祭り企画（ユニットごと）	2月	節分・豆まき
9月	敬老祝賀式	3月	ひな祭り（ユニットごと）
その他	誕生会・ドライブ企画		

9. ボランティア、クラブ活動状況（定期活動のみ）

昨年度同様に、ボランティアの受入はありませんでした。今後、徐々にボランティアの受け入れを増やしていきたいと考えます。

10. 介護事故・ヒヤリハット報告

介護事故報告数	ヒヤリハット報告数
7件	489件

令和5年度の介護事故発生件数は7件あり、転倒、転落による骨折が4件、誤薬等が3件でした。骨折に関しては、入院に至ったケースが殆どでした。

また、ヒヤリハット報告として、全体の統計からは、軽微なものを含めて、内出血、皮膚隔離、ベッドからのずり落ちなどが非常に多くみられ、日頃のケア方法を検討しました。今後は、事故予測の報告を増やすことで、未然に対策を講じていけるよう努めていきます。

11. 特別養護老人ホーム第二丹後園 事業報告（総括）

感染症対策も以前に比べ緩和しましたが、面会場所や時間の制限、面会人数の制限、マスクを使用するなどの介護など、ご利用者の生活において制約のあるなかでの事業運営となりました。

ご利用者がその人らしい生活を続けられることを意識し、日々の生活の中では、24時間シートの利用、食事の工夫、健康管理、家族との連携を意識し、ご利用者の生活リズムを大切に考えました。また、限られた職員人数のなかで、少しの工夫から職員の働きやすさを検討すると共に、ご利用者の楽しみにもつながるように努めました。

令和5年度から導入した夜間オンコール代行では、夜間であっても専門家に相談することで、ご利用者、職員の安心に繋げることができました。

事業所名 特別養護老人ホーム第二丹後園（短期入所事業）

1. 施設利用稼働率（前年度対比）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和4年度	94.3%	94.8%	93%	86.5%	71.6%	99.7%	
令和5年度	97.9%	98.7%	98.9%	97.9%	98.7%	99.1%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
令和4年度	98.1%	96.3%	102.9%	86.8%	100.4%	101%	93.8%
令和5年度	99.3%	99.4%	99.4%	96.8%	97.9%	98.2%	98.5%

2. 介護度別利用延べ人数（前年度対比、年間計）

【介護保険ショートステイ】

	要支援 1	要支援 2	要介護 I	要介護 II	要介護 III	要介護 IV	要介護 V	計
令和4年度	0	9	156	761	1,152	1,192	143	3,413人
令和5年度	5	0	188	645	1,111	1,289	296	3,534人

【障害ショートステイ】

	障 1	障 2	障 3	障 4	障 5	障 6	障 1 ナ	障 2 ナ	障 3 ナ	障 4 ナ	障 5 ナ	障 6 ナ	計
令和4年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	18人
令和5年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	18人

介護保険ショートステイ利用者+障害ショートステイ利用者=3,552人

3. 特別養護老人ホーム第二丹後園（短期入所事業） 事業報告（総括）

事業を休止することなく1年間を過ごすことができ、稼働率は、年間を通して高い水準を維持することができました。

障害ショートステイに関しては、1人の受け入れをおこないましたが、現在の利用者は、令和6年3月に契約終了となっています。

短期入所の取組として、季節感を味わっていただけるように、創作活動の実施、行事の実施を行い、楽しく豊かに過ごしていただけるように努めました。

在宅部 事業報告

在宅部は、丹後園デイサービスセンター、浜詰デイサービスセンター、居宅介護支援事業所、訪問入浴の4つの介護保険事業所と介護保険外事業の在宅介護支援センターです。事業所ごとに特色と役割を持ち、ご利用者のニーズに柔軟に対応させていただくサービスを実施しました。

各事業所の特色を活かし、他職種や関係機関との連携を図りながら、自宅での生活を支援させていただきました。ご利用者一人ひとりに合わせたサービスの調整と支援を行い、ご利用者のニーズに寄り添うことができました。また、何らかの問題をきたしている家庭も多く見られます。ご利用者だけでなく、ご家族も安心して生活していただけるように、必要な関係機関と家庭とのパイプ役も担うことができたと感じています。

新型コロナウイルス感染症が5類になり、これまでから行われていた地域の行事が再開となったため、居宅介護支援事業所を中心に介護者教室に参加し、学校への福祉体験講師などへ派遣も行いました。また、認知症カフェの活動を通して、介護予防の啓発や地域のニーズを把握することに努めました。

月1回の各事業所のケア会議や勉強会を充実させ、職員の知識の向上を図るとともに、時間内に業務を終えられる取組を行いました。今後も定期的に振り返りを行い、働きやすい職場となるように検討を重ねていきたいと思っております。

事業所名 丹後園デイサービスセンター

1. 施設利用稼働率（前年度対比）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和4年度	98.0%	92.0%	98.8%	91.2%	97.9%	94.0%	
令和5年度	86.5%	98.5%	82.0%	86.8%	90.4%	94.4%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
令和4年度	95.7%	92.1%	98.1%	91.7%	89.9%	96.9%	94.7%
令和5年度	94.1%	95.9%	90.5%	87.3%	88.0%	88.5%	90.2%

2. 介護度別利用延べ人数（前年度対比、年間計）

	要支援 1	要支援 2	要介護 I	要介護 II	要介護 III	要介護 IV	要介護 V	計
令和4年度	344	1,141	2,159	2,196	1,310	981	392	8,523人
令和5年度	481	1,079	1,649	2,546	1,235	788	345	8,123人

3. 月別利用者数

要支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実利用者数	25	25	25	27	25	25	
延べ利用者数	121	136	134	123	129	141	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
実利用者数	25	23	23	21	20	21	23.8人
延べ利用者数	141	140	135	119	114	107	128.3人

要介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実利用者数	67	70	64	63	62	63	
延べ利用者数	528	590	481	525	546	566	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
実利用者数	67	72	66	66	70	67	66.4人
延べ利用者数	565	574	541	534	544	557	545.9人

4. 年間行事等報告

月別	実施行事等	月別	実施行事等
4月		10月	消防訓練
5月		11月	不審者対応訓練・文化祭展示
6月	消防訓練	12月	非常災害避難訓練(机上訓練) 家族交流会
7月	夏祭り	1月	新年会
8月		2月	
9月	敬老会	3月	

新型コロナウイルス感染症が5類になったため、ボランティアの再開をしました。新年会や敬老会で、ボランティアの方に踊りなどを披露していただき、ご利用者の方に喜んでいただくことができました。

5. 介護事故・ヒヤリハット報告

介護事故報告数	ヒヤリハット報告数
3件	54件

介護事故の内容は、バランスを崩されたご利用者を支えた際に、皮膚を傷つけた事故が1件、職員の注意不足により、足を浴槽縁にあててしまいケガをさせた事故が1件、転倒が1件ありました。ご利用者の行動を想定し、未然に事故を防止できるように職員間で対応策を共有しました。

ヒヤリハットの内容は、薬に関するものが一番多く8件でした。送迎時に薬の確認を怠り持参を忘れたり、違う薬を持ってきたり、また、薬の提供漏れなどがありました。薬の持参方法や、デイサービス内での保管方法を検討しました。

6. 丹後園デイサービスセンター 事業報告（総括）

ご利用者、ご家族の思いや希望により沿い、機能を維持していただけるような支援に努めました。ご利用者の身体機能の把握に努め、その方にあった福祉用具の提案や、自宅での生活が安全なものとなるように環境についてのアドバイスをを行い、介護支援専門員やご家族との連携を図りました。

やりがいを持って生活していただけるように「給料の出るデイサービス」の取組を継続しました。大根のお仕事は、職員の体制上、継続が難しく中止になりましたが、その分シール貼りのお仕事は、年間を通して提供できるようにしました。

家族交流会では、新しい試みとしてご家族の方にデイサービスに見学に来ていただきました。ご家族より、「デイサービスでどのように過ごしているのか、様子が分かり安心しました。良かったです。」等のお言葉をいただきました。

福祉の啓発活動として、網野中学校に福祉体験の講師の派遣を行いました。地域の方々に、福祉についての知識を持っていただくため、今後も活動を継続して行きたいと思えます。

防犯訓練や消防訓練を実施し、慌てず迅速な対応ができるように避難場所や対応方法の再確認を行いました。また、新たに作成された業務継続計画を全職員に周知を行いました。

職員の働きやすい職場作りを目指し、定時に業務が終えられるように、業務内容の改善や職員の動きについて確認を行いました。今後も、ご利用者が安全に安心して利用でき、職員がやる気を持って働ける事業所づくりを目指したいと思えます。

事業所名 浜詰デイサービスセンター

1. 施設利用稼働率（前年度対比）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和4年度	79.9%	84.0%	79.6%	77.9%	51.7%	71.1%	
令和5年度	69.6%	76.1%	70.9%	68.4%	64.3%	67.7%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
令和4年度	78.3%	78.5%	74.0%	69.2%	70.0%	75.5%	74.1%
令和5年度	67.9%	68.3%	68.7%	64.9%	57.9%	55.3%	66.7%

2. 介護度別利用延べ人数（前年度対比、年間計）

	要支援 1	要支援 2	要介護 I	要介護 II	要介護 III	要介護 IV	要介護 V	計
令和4年度	245	205	2,570	2,532	468	594	18	6,632人
令和5年度	129	60	2,781	2,321	458	251	0	6,000人

3. 月別利用者数

要支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実利用者数	9	8	7	5	3	4	
延べ利用者数	30	28	27	19	14	16	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
実利用者数	3	2	2	4	3	2	4.3
延べ利用者数	11	7	5	12	11	9	15.8

要介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実利用者数	45	47	48	47	46	51	
延べ利用者数	492	543	505	494	468	492	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
実利用者数	49	49	49	47	40	35	46.1
延べ利用者数	498	505	510	475	423	406	484.3

4. 年間行事等報告

月別	実施行事等	月別	実施行事等
4月	花見ドライブ行事	10月	さつま芋行事①、消防訓練
5月	感謝行事	11月	さつま芋行事②、不審者対応訓練
6月	感謝行事、消防訓練	12月	持ち帰りカレンダー行事
7月		1月	新年企画
8月	夏祭り行事	2月	節分行事
9月	敬老行事、防災訓練	3月	雛祭り行事

この他、手作りおやつや、月に数回の誕生日会を実施しました。昨年度、新型コロナウイルス感染症の感染状況等を鑑み中止していた夏祭り行事やケアビクスを再開しました。

5. 介護事故・ヒヤリハット報告

介護事故報告数	ヒヤリハット報告数
1件	30件

介護事故は、靴をはき替えられ、立ち上がった際に転倒され、右腕を負傷されました。つかまりやすい位置に歩行器を置くなど、転倒防止に努めました。

ヒヤリハットの内訳は、立ち上がり時のふらつき、椅子に座り損ねられる等、転倒や転落が半数近くありました。ご利用時の状態に応じた支援を行うとともに、適切な介助方法や環境の整備等の再発防止策を講じました。

6. 浜詰デイサービスセンター 事業報告（総括）

「あなたの笑顔・ステキ顔」をモットーとして、日々、ご利用者やご家族との信頼関係の構築に努めるとともに、ご利用者の思いを大切にされた支援を行いました。年間行事や創作活動等の各種活動を通して、ご利用者が興味を持ち、これまでの経験や特技を発揮していただけるような工夫もしました。

職員の知識や技術の向上を図る取組みとして、研修等に参加を行い、在宅部合同勉強会にて、ハラスメント防止、高齢者虐待防止等について学びました。また、より実践に役立つように、感染症対策のマニュアルを見直す機会を作りました。

地域との交流では、浜詰区の防災訓練やクリーン活動に参加し、地藏盆にはお地藏さんの前掛けを作成して、浜詰地区の愛護会に寄付をしました。また、不審者対応訓練には、たちばな駐在所の警察官に参加をしていただき、アドバイスをいただきました。施設内に高齢者大学の方々の書道作品の展示も行い、顔の見える関係作りに取り組みました。

今後もご利用者が楽しみを持ってご利用していただけるように、様々な工夫をしながら職員全員で協力してサービスの提供に努めていきたいと思っております。

事業所名 丹後園居宅介護支援事業所

1. 居宅介護支援請求人数 前年対比（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和4年度	237	246	237	228	230	231	
令和5年度	242	238	236	244	234	234	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	246	235	233	235	245	242	2,845
令和5年度	243	246	252	243	229	220	2,861
							+16

2. 介護度別請求人数・割合 前年度対比（人）

	要支援 1・2	要介護 I	要介護 II	要介護 III	要介護 IV	要介護 V	合計
令和4年度	248	970	955	424	377	119	3,093
令和5年度	294	1,045	978	369	368	101	3,155
人数増減	+46	+75	+23	-55	-9	-18	+62
令和4年度	8.0%	62.2%		29.7%			
令和5年度	9.3%	64.1%		26.6%			

3. 介護事故・ヒヤリハット報告

介護事故報告数	ヒヤリハット報告数
0件	31件

介護事故はありませんでしたが、ヒヤリハットが31件ありました。内訳は、サービス利用の変更の連絡不備が15件、提供表などの作成間違いが8件、個人情報取り

扱いミスが6件、遅刻が1件、車の鍵の持ちかえりが1件でした。

昨年よりもヒヤリハット報告数が増えています。ヒヤリハットの報告をすることで、自分自身の業務を振り返り、改善点を事業所全体で模索する機会となりました。

4. 丹後園居宅介護支援事業所 事業報告（総括）

4月に2人の異動があり、8月には1人が他事業所に異動になった中、担当ご利用者の引き継ぎや交代業務の遂行と並行し、滞りのないよう新規の受け入れを行いました。また、終末期や在宅での看取りを希望されるケースの細かな調整を行いました。

コロナウイルス感染症が5類に移行になり、今まで縮小や休止になっていた催しや会議等が再開されました。虹の会、島津地区の地域懇談会への参加、網野中学校への福祉体験学習への講師派遣、認知症高齢者SOSネットワーク情報伝達訓練への協力、認知症カフェ運営など積極的に地域に出向き、福祉を広める活動に貢献しました。

京丹後市包括支援センターとの連携に関しましては、お互いに相談しやすい関係ができています。虐待ケースやドメスティックバイオレンスへの対応、ヤングケアラーなど、社会問題が多様化しています。ケアマネジャーだけでは対応困難な事例が増えており、各行政機関と連携を密にし、情報を共有しながら支援を行いました。また、高齢者部会では他法人との事例検討会を行い、様々なケースに対応できるよう自己研鑽しました。

事業所全体で加算取得の意識を持ち、ご家族や各機関と連携を図ることで、在宅看取りや退院退所の支援を行いました。そのため、令和6年度は全国的に加算算定率の少ない特定事業所医療介護連携加算を算定できることになりました。

事業所名 丹後園訪問入浴

1. 介護度別利用延べ人数（前年度対比、年間計）

	要支援 1	要支援 2	要介護 I	要介護 II	要介護 III	要介護 IV	要介護 V	合計
令和4年度	0	0	0	4	1	0	66	71
令和5年度	0	0	0	0	0	0	79	79

2. 丹後園訪問入浴 事業報告（総括）

前年度に続き、月曜日の午後2件の枠で稼働をしました。2人のご利用者にご利用していただいていたのですが、お一人の方は9月に体調を崩され入院、退院をされた後も体調不良で数回、お休みをされました。退院後、訪問入浴を再開される際には、お褒めのお言葉をいただきました。12月には長期的にご利用をいただいていた方が逝去され、2月からは新しい方にご利用していただいています。経口摂取が難しい方ですが、最後まで自宅で介護をしたいという、ご家族の希望があり支援を行っています。

ご利用者の体調の確認を行い、医療関係との連携に努めながら、最後まで自宅で介護したいというご家族と、自宅で過ごしたいというご利用者の思いに寄り添い、少しでもお手伝いできるように、できる限りの対応をして行きたいと思っております。

事業所名 丹後園在宅介護支援センター

1. 相談実績及び相談内容

介護保険その他の保健福祉サービスに関することの内訳	件数 (延べ)
① 介護保険申請・認定関係	3
② 介護サービス関係 (住宅改修・福祉用具以外)	1
③ 住宅改修・福祉用具関係	6
④ 施設入所関係	3
⑤ 介護保険以外のサービスに係る相談、問い合わせ	0
⑥ 認知症及び精神保健、介護方法に関する相談	0
⑦ 医療、健康に係る相談	1
⑧ 介護家族の健康等に係る相談	0
⑨ 成年後見・権利擁護に関する相談	0
⑩ 高齢者虐待に関する相談	0
合 計	14件

2. その他の活動実績

業 務 内 容	事 業 実 績	回 数
会議・研修会等連携業務	・京丹後市地域ケア推進会議	1回
	・網野地域ケア推進会議	0回
	・個別会議	1回
その他業務 (家族支援・認知症事業 ・普及啓発活動等)	・認知症カフェ	11回
	・網野中学校福祉体験学習への協力	1回

3. 丹後園在宅介護支援センター 事業報告 (総括)

関係機関と連携を図り、早期に相談・対応を行うことができました。

相談業務の内容は、住宅改修・福祉用具に関係し、退院後や筋力低下によりトイレまでの移動が困難となっている方の転倒防止を図るため、ポータブルトイレを貸し出すというケースが6件ありました。他には、他施設の苦情相談やIターンを希望されている方の介護サービスの相談支援を行いました。

地域ケア推進会議では、支援ケースを事例提供しました。介護サービスだけでなく障害サービスや地域の施設を活用して、いかにご利用者と地域との関係を築き、地域の中で役割ある生活を送っていただけるのかを学びました。

ケアハウス部 事業報告

事業所名 ケアハウス丹後園

1. 施設利用稼働率（前年度対比）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和4年度	94.4%	90.4%	88.4%	95.3%	94.6%	98.1%	
令和5年度	99.0%	98.0%	99.0%	100.0%	98.4%	98.1%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
令和4年度	95.8%	98.2%	100.0%	99.5%	100.0%	99.0%	96.1%
令和5年度	96.7%	94.2%	96.2%	94.7%	86.6%	87.5%	95.7%

2. 介護度別入所者数（前年度対比、3月31日現在）

	自立 事業対 象者含	要支援 1	要支援 2	要介護 I	要介護 II	要介護 III	要介護 IV	要介護 V	平均 介護度
令和4年度	4	1	4	10	9	2	0	0	1.4
令和5年度	5	0	5	10	6	2	0	0	1.3

3. 年齢階級別入所者数（3月31日現在）

60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳
0人	0人	2人	2人	3人
85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	平均年齢
7人	10人	4人	0人	87.7歳

4. 入院状況 年間入院者数合計 9人（令和4年度：10人）

病院名	診療科目	入院者数
丹後中央病院	内科・整形外科	3人
京丹後市立久美浜病院	泌尿器科・内科	4人
京丹後市立弥栄病院	整形外科	2人

5. 退所の状況（男性3人・女性1人 計4人）（令和4年度：2人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
計	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0

退所の内訳

	男	女
病院	2人	0人
同施設特養入所	0人	1人
他施設入所	1人	0人

6. 年間行事等報告

月別	実施行事等	月別	実施行事等
4月	花祭り 歓迎会 花見ドライブ	10月	そば外食企画 消防訓練
5月	母の日企画 こどもの日企画	11月	うどん作り企画 文化祭
6月	消防訓練 和菓子の日企画 父の日企画	12月	
7月	ソーメン企画 たこ焼き企画 水無月祭	1月	互礼会 (ぜんざい) 書初め 福笑い
8月	団子作り企画 ところてん企画	2月	節分企画
9月	敬老会 俳句会 (おはぎ)	3月	ひな祭り企画 歌会 お茶会

7. 介護事故・ヒヤリハット報告

介護事故報告数	ヒヤリハット報告数
1件	9件

事故、ヒヤリハットともに転倒によるものがほとんどでした。感染症対策の影響もあり、自室で過ごされることが増えたためか、筋力低下、体力低下の見られるご利用者がおられました。転倒予防体操やレクリエーションなども積極的に参加していただけるよう呼びかけ、口腔体操時に足の運動も取り入れるなど、筋力低下防止に取り組みました。

8. ケアハウス丹後園 事業報告 (総括)

新型コロナウイルス感染症が5類に移行されましたが、以前のように外出や行事は再開しにくい状態でした。居室で過ごす時間が多くなっていたため、筋力低下、体力低下に加え認知機能の低下も見られる方が増え、ヘルパー訪問や、デイサービスの利用回数が増えました。職員も個別の状況に応じ、ケアマネジャーやご家族と相談しながら、環境整備や生活の支援をさせてもらう時間が増えています。自立した生活を

継続していただくため、レクリエーションや転倒予防体操の参加を促し、筋力低下防止に努めましたが、転倒事故で骨折入院される方が2人ありました。外出支援の代わりに、移動販売に来ていただく回数を増やし、自分で選んで購入する楽しみや生活にハリを持っていただけるよう支援しました。

事業所名 丹後園ホームヘルプセンター

1. 訪問件数 (前年度対比、第一号・障害を除く。)

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
生活援助	105	123	118	113	128	143	
身体生活	197	170	167	164	170	173	
身体介護	412	388	388	349	396	368	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
生活援助	136	132	148	102	88	94	119.2
身体生活	172	205	188	215	192	182	182.9
身体介護	337	341	330	338	292	293	352.7

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
生活援助	94	98	101	98	97	75	
身体生活	152	169	158	165	124	146	
身体介護	278	297	271	292	228	230	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
生活援助	59	84	92	87	95	90	89.2
身体生活	146	143	148	146	123	122	145.2
身体介護	216	251	263	300	320	351	274.8

2. 介護度別利用延べ提供数 (前年度対比、年間計、障害を除く。)

	要支援 I	要支援 II	要介護 I	要介護 II	要介護 III	要介護 IV	要介護 V	計 (回数)
令和4年度	403	421	1,701	3,158	1,035	1,011	952	8,681
割合	4.6%	4.8%	19.6%	36.4%	12.0%	11.6%	11.0%	
令和5年度	310	483	1,781	2,146	867	755	558	6,900
割合	4.5%	7.0%	25.8%	31.1%	12.6%	10.9%	8.1%	

3. 介護事故・ヒヤリハット報告

介護事故報告数	ヒヤリハット報告数
0件	16件

介護事故の発生はありませんでした。

ヒヤリハットは、訪問忘れや訪問時間の間違いなどの報告が多くあり、訪問予定の

思い込みや確認もれが原因でした。また訪問先での経年劣化による調理器具や掃除道具類の使用中の破損が数件ありました。再発防止に取り組みたいと思います。

4. 丹後園ホームヘルプセンター 事業報告（総括）

前年度と比べてご利用者の要介護度は軽度化しました。支援内容としては、排泄交換や内服など短時間の身体介護を一日に複数回利用される方が多かったです。ヘルパー人員としては、前年度に比べてサービス提供責任者が1人、登録ヘルパーが3人減少となったこともあり、訪問件数は全体的に下がりました。ヘルパー利用希望に応えるため、サービス提供責任者の訪問件数を倍以上に増やしましたが、訪問先への移動に業務時間を費やすのが課題となっています。効率の良い業務がご利用者の支援の拡大につながりますので、引き続き、可能な業務改善を検討していきたいと思います。

自事業所のみでは訪問希望に応えきれず、他事業所のヘルパーとも交替で支援に入る方も増えています。人員の苦しいなか、京丹後市のヘルパー事業所全体で、ご利用者・ご家族を支える取組が必要になってきていると感じています。安心して在宅生活を続けていただけるように、細やかな配慮の行き届いた訪問支援を続けていきます。

地域福祉部 事業報告

令和5年度は、コロナウイルス感染症の位置づけが5類へ移行しました。これにより、令和4年度と比較して、サービス提供内容も社会的な交流活動が増え、また、通所介護事業ではコロナ感染による休業が減り、正常な事業活動に戻りました。

地域福祉部の各事業が共同で実施している陽だまりカフェについては、令和5年度は月2回で合計23回実施し、平均で約10人の方にご参加いただき、地域の福祉資源として定着しています。

次年度以降も、各事業活動が充実したものとなるよう、堅実な運営に努めたいと思います。

事業所名 ふれあいホーム桃山

1. 施設利用稼働率（前年度対比）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和4年度	93.1%	100.0%	100.0%	100.0%	96.6%	100.0%	
令和5年度	93.1%	96.6%	96.6%	96.6%	89.7%	93.1%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
令和4年度	100.0%	100.0%	96.6%	96.6%	100.0%	96.6%	98.3%
令和5年度	89.7%	93.1%	93.1%	79.3%	86.2%	89.7%	91.4%

2. 介護度別利用延べ人数（前年度対比、年間計）

	要支援 1	要支援 2	要介護 I	要介護 II	要介護 III	要介護 IV	要介護 V	計
令和4年度	0	40	2,782	6,387	2,949	1,327	38	13,523人
令和5年度	0	0	1,790	6,147	4,009	1,293	427	13,666人

3. 月別利用者数

要支援（延べ利用者数）

令和5年度は、要支援認定者のご利用はありません。（令和4年7月以降利用なし。）

要介護（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
通い（利用者数）	424	466	432	449	428	387	
訪問（利用者数）	698	672	646	708	680	641	
宿泊（利用者数）	48	71	43	42	62	17	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
通い（利用者数）	421	402	381	349	374	415	410.7人

訪問 (利用者数)	707	650	683	789	705	739	693.2 人
宿泊 (利用者数)	19	19	25	21	21	32	35 人

4. 年間行事等報告

月別	実施行事等	月別	実施行事等
4月	お茶会企画	10月	手作りおやつ/消防訓練
5月	母の日企画	11月	焼き芋大会
6月	梅雨の運動会/消防訓練	12月	忘年会
7月	クレープ企画 (北八)	1月	お正月のお祝い
8月	かき氷企画	2月	節分企画/節分太鼓
9月	敬老会企画	3月	ひな祭り企画

※地域交流スペース陽だまりの利用状況

陽だまりカフェ：月2回実施 (第2、第4水曜日)

ピーチサロン：毎月1回 (第1木曜日)

桃山区松寿会：輪投げ練習40回

桃山区：地藏盆、草刈り時の休憩場所

職員検診：2回利用 (5月、10月)

5. 介護事故・ヒヤリハット報告

介護事故報告数	ヒヤリハット報告数
2件	26件

介護事故に関しては、椅子からの転落が1件、誤薬が1件ありました。

ヒヤリハットに関しては、服薬の提供忘れや誤薬など、薬に関することが11件で最も多くありました。また、荷物忘れも多く、確認不足によるものが多くありました。その他、訪問に行くことを忘れたケースが3件あり、重大事故につながる案件として十分に注意していきたいと考えています。

6. ふれあいホーム桃山 事業報告 (総括)

令和5年度は、8人のご利用者が契約終了となりました。内訳は、特別養護老人ホームに入所が3人、退院ができないための契約解除が4人、ご家族宅への転居が1人です。

介護や医療の支援を多く必要とされるご利用者が増加しており、平均介護度は、令和5年3月は2.3でしたが、令和6年3月は2.8と高くなっていることから、必要な介護の量も増えています。稼働率 (実人数) は前年度対比では下がっていますが、一方、利用回数 (延べ人数) は増加しており、一人当たりの支援が増えています。

ご利用者の支援を安定的に提供できるよう、新規の受け入れに関しても丁寧な調整が必要となっています。その中で、職員個々の能力の向上に努め、効率的に業務ができるよう介護技術における勉強会等も実施しており、勉強会や訓練等が計画的に実行できるよう体制整備に努めています。

また、ご利用者が楽しめるように、行事や企画では普段とは異なるものを検討し、

楽しむ意欲的な様子と、出来る能力を見ることにより、多くの気づきを得ることができました。加えて、切干大根を作る工程ではご利用者が「お仕事」として取り組まれ、そこで得た手当で外食する機会を持つこともできました。

体調管理では、安定した生活、意欲的・活動的な時間を提供できるケアに努めたいと考えています。

職員間で積極的にコミュニケーションを図り、自由な発想や創造力の強化に努め、組織の醸成に努めたいと考えています。

事業所名 ふれあいホームあみの

1. 施設利用稼働率（前年度対比）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和4年度	83.3%	105.5%	83.3%	105.5%	100.0%	105.5%	
令和5年度	111.1%	83.3%	100.0%	116.6%	94.4%	94.4%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
令和4年度	100.0%	100.0%	94.4%	94.4%	105.5%	83.3%	96.7%
令和5年度	94.4%	94.4%	94.4%	88.8%	88.8%	77.7%	94.9%

2. 介護度別利用延べ日数（前年度対比、年間計）

	要支援 1	要支援 2	要介護 I	要介護 II	要介護 III	要介護 IV	要介護 V	計
令和4年度	0	193	3,296	1,371	1,710	3,010	2,135	11,715人
令和5年度	0	200	2,554	1,932	2,182	2,406	804	10,078人

3. 月別利用者数

要支援（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
通い（利用者数）	8	9	9	8	8	8	
訪問（利用者数）	9	9	8	8	8	9	
宿泊（利用者数）	0	0	0	0	0	0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
通い（利用者数）	9	9	8	8	9	8	8.4
訪問（利用者数）	9	8	8	8	6	9	8.3
宿泊（利用者数）	0	0	0	0	0	0	0

要介護（延べ利用者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
通い（利用者数）	157	167	203	193	188	214	
訪問（利用者数）	654	697	701	734	693	637	
宿泊（利用者数）	8	7	11	9	9	11	

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
通い(利用者数)	230	212	216	223	190	201	199.5
訪問(利用者数)	612	453	547	566	519	559	614.3
宿泊(利用者数)	11	10	10	9	8	9	9.3

4. 年間行事等報告

月別	実施行事等	月別	実施行事等
4月	花見ドライブ	10月	消防訓練・ドライブ
5月		11月	運動会・ドライブ
6月	消防訓練	12月	忘年会・餅つき
7月	七夕	1月	
8月	水害訓練	2月	節分
9月	敬老会	3月	ひな祭り・防犯訓練

5. 介護事故・ヒヤリハット報告

介護事故報告数	ヒヤリハット報告数
0件	26件

今年度、介護事故はありませんでした。

ヒヤリハット報告では車両の接触、訪問漏れ、異食など重大な事故につながりかねない内容がありました。職員自身が注意し、落ち着くことで防げる内容、全体で声を掛け合うことで防げる内容もありました。改めて皆で声を掛け合うことの大切さを感じています。未然に防げるよう声を掛け合い、対応していきたいと考えています。

6. ふれあいホームあみの 事業報告(総括)

コロナウイルス感染症が5類に引き下げられましたが、ここ3年程の閉じこもった過ごし方が定着してしまっているように感じます。

地域との取組もまだ積極的に行われていないため、事業所内で何か楽しめる事を考える状況にありました。昨年度からは、創作活動に力を入れることができ、企画食を毎月行うことで、ご利用者、職員の楽しみになっており、今年度も継続することができました。また秋以降は、紅葉ドライブを機に外に出る機会につなげることができました。地域の新しいお店に食べに行こうという企画を考え、実際にご利用者と買い物に出かけたり、買い物ついでのドライブを計画したりする等、少し新しい事を行うことができました。様々なことに目を向けられるように、行事企画、外部との交流を持っていきたいと考えています。

職員体制は、人数が整ったと思えば欠員になるという状況です。その中でも大きな事故もなく運営することができました。限りある人数でいかに日々の業務をこなすのかと考えたとき、それぞれの職員が「お互い様」という気持ちで業務にあたる事ができれば効率よく、気持ちよく仕事ができるのではないかと思います。それを当たり前にするのは難しいと思いますが、小さなきっかけ作りから始めていければと考えています。

事業所名 デイサービスセンター住の江

1. 施設利用稼働率（前年度対比）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和4年度	65.2%	72.2%	73.8%	74.4%	73.9%	74.8%	
令和5年度	68.6%	66.7%	67.5%	67.6%	64.8%	66.6%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
令和4年度	70.4%	70.1%	65.6%	60.2%	68.6%	69.7%	69.9%
令和5年度	68.9%	70.6%	69.1%	55.2%	65.2%	67.2%	66.5%

2. 介護度別利用延べ人数（前年度対比、年間計）

	要支援 1	要支援 2	要介護 I	要介護 II	要介護 III	要介護 IV	要介護 V	計
令和4年度	311	250	1,513	1,776	805	607	301	5,563人
令和5年度	169	326	1,709	1,457	771	639	322	5,393人

3. 月別利用者数

要支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実利用者数	9	9	8	7	7	7	
延べ利用者数	43	51	39	40	42	39	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
実利用者数	6	7	7	7	7	7	7.3
延べ利用者数	36	40	37	41	45	42	41.3

要介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実利用者数	55	56	61	54	56	56	
延べ利用者数	403	416	417	417	413	411	
時間短縮	11	13	13	4	7	6	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
実利用者数	59	58	56	54	54	56	56.3
延べ利用者数	430	437	430	332	379	412	408.1
時間短縮	8	9	5	23	8	6	9.4

4. 年間行事等報告

月別	実施行事等	月別	実施行事等
4月	花見ドライブ	6月	通報・避難訓練/保育所交流会
5月	ドライブ		

8月	残暑祭り/水害避難訓練	1月	初詣
9月	敬老お祝い（デイ・ほほえみ）	2月	防犯対策訓練
11月	焼き芋/紅葉ドライブ	3月	花見ドライブ
12月	餅つき/通報・避難訓練 忘年会（デイ・ほほえみ）		

5. 介護事故・ヒヤリハット報告

介護事故報告数	ヒヤリハット報告数
3件	43件

介護事故では足首の捻挫が1件と、ベッドからの転落が1件ありました。いずれの事故についても職員間で原因を分析し、環境改善等の再発防止を徹底しています。

6. デイサービスセンター住の江 事業報告（総括）

(1) デイサービスセンター住の江について

限られたサービスの提供スペースで、職員体制とのバランスをとりながら、受け入れ利用者数を増やすことは安易ではありませんでした。しかし、スタッフが協力し合い、努力することで、維持することができたと思います。

また、ご利用者の機能訓練を継続し、体操やレクリエーションでは、感染予防対策を行いながら、ご利用者に楽しみながら活動していただきました。

次年度に向け、新型コロナウイルス感染症流行以降、減ってしまった地域との交流の機会を少しずつ増やしていければと考えています。

(2) サービス付き高齢者向け住宅「ほほえみ」について

現在14人の方が入居中です。入居者はご家族やサービス事業の支えもあり、健康状態も安定されていますが、お一人暮らしのため、調理スタッフを始め職員の臨機応変な対応も重要な役割となっています。今後も、住み慣れた地域の中で安心して暮らしを継続できるよう支えていければと考えています。

事業所名 グループホームあみの

1. 施設利用稼働率（前年度対比）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和4年度	79.6%	99.6%	88.8%	96.6%	100.0%	95.5%	
令和5年度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
令和4年度	88.8%	94.7%	89.2%	100.0%	100.0%	100.0%	94.4%
令和5年度	100.0%	93.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.4%

2. 介護度別利用延べ人数（前年度対比、年間計）

	要支援 1	要支援 2	要介護 Ⅰ	要介護 Ⅱ	要介護 Ⅲ	要介護 Ⅳ	要介護 Ⅴ	計
令和4年度	0	0	751	730	429	692	500	3,102人
令和5年度	0	0	854	1130	611	61	528	3,184人

3. 介護度別入所者数（前年度対比、3月31日現在）

	要支援 1	要支援 2	要介護 Ⅰ	要介護 Ⅱ	要介護 Ⅲ	要介護 Ⅳ	要介護 Ⅴ	平均 介護度
令和4年度	0	0	3	2	2	1	1	2.4
令和5年度	0	0	2	3	2	0	2	2.7

4. 年齢階級別入所者数（3月31日現在）令和5年11月

65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	
0人	2人	0人	1人	
85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳以上	平均年齢
0人	4人	1人	1人	87.4歳

5. 入院状況

年間入院者数合計人 3月現在 0人 令和4年2人

病 院 名	診 療 科 目	入 院 者 数
丹後ふるさと病院 0人	内科	0人
京丹後市立弥栄病院 0人	内科	0人

6. 退所の状況（男性0人・女性1人 計1人）（令和4年度：4人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

退所の内訳

	男	女
死亡（当該施設）	0人（内看取り0人）	0人（内看取り0人）
他施設	0人	1人
病院	0人	0人
その他	0人	0人

7. 年間行事等報告

月 別	実 施 行 事 等	月 別	実 施 行 事 等
4月	花見ドライブ	10月	消防訓練/夢こども園との交流

			(ミニ運動会)
5月	BBQ/焼き芋企画/夢こども園交流	12月	餅つき企画
6月	消防訓練/夢こども園交流	1月	初詣
7月	七夕行事(夢こども園)	2月	節分
8月	水害訓練		

8. 介護事故・ヒヤリハット報告

介護事故3件 (山崎氏誤薬9月)(岡本氏転倒12月)(井上氏転落3月)

介護事故報告数	ヒヤリハット報告数
3件	156件

今年度の介護事故は3件あり、内訳は、誤薬1件、ベッドからの転落1件、転倒事故1件となっています。また、2件は夜間帯で発生していますが、今後も夜勤は1名体制で継続するため、夜間帯の見守り等安全対策を随時検討していく必要があります。

9. グループホームあみの 事業報告(総括)

(1) 個別ケアを目標としており、少しずつですが確実に前進しています。夜間浴も実施できており、ご利用者の要望にも応えられる機会も増えて、ケアの質が向上していると実感しています。

(2) 次年度に向けて

集団生活ではありますが、その中でも個別ケアがしっかりと提供できるよう、ご利用者の希望や機能を把握するとともに、業務改善に取り組み、質の高いケアが提供できるよう日々努力していきます。

庶務部 事業報告

1. 職員の配置状況

職員異動状況（年度当初・年度末対比） ※（ ）はパート職員

区分	日付	施設長	事務員	直接介護職員				栄養士	嘱託医	その他	備考
				相談員	介護職員	看護職員	小計				
特養 (短期)	4/1 時点	1	1	2	24 (1)	3 (1)	29 (2)	1	1	(2)	
	3/31 現在	1	1	2	21 (2)	3 (1)	26 (3)	2	1	(2)	
丹後園 デイ (入浴)	4/1 時点			6	3 (1)	(3)	9 (4)			1 (4)	
	3/31 現在			5	4 (2)	1 (1)	10 (3)			1 (3)	
訪問 介護	4/1 時点				4 (6)		4 (6)				
	3/31 現在				3 (6)		3 (6)				
浜詰 デイ	4/1 時点		1	4	4 (1)	(2)	8 (3)			(2)	
	3/31 現在		1	4	3 (1)	(2)	7 (3)			(2)	
ケア ハウス	4/1 時点	1		1	2		3				
	3/31 現在	1		1	2		3				
居宅	4/1 時点		1 (1)		8		8				
	3/31 現在		1 (1)		7		7				
第二 特養 (短期)	4/1 時点	1	1	2	27 (3)	2 (1)	31 (4)	2		8 (1)	
	3/31 現在	1	1	2	26 (2)	2 (1)	30 (3)	1		7 (1)	

GH あみの	4/1 時点				7	(1)	7 (1)				
	3/31 現在				7		7				
桃山	4/1 時点				13 (2)	1 (1)	14 (3)			1	
	3/31 現在				12 (2)	1 (1)	13 (3)			1	
あみの	4/1 時点		1		7	(1)	7 (1)				
	3/31 現在		1		6	(1)	6 (1)				
住の江	4/1 時点			3	4 (1)	(3)	7 (4)			3 (2)	
	3/31 現在			4	4 (2)	(2)	8 (4)			3 (2)	
合計	4/1 時点	3	4 (2)	18	103 (15)	6 (13)	127 (28)	3	1	13 (11)	
	3/31 現在	3	5 (1)	18	95 (17)	7 (9)	120 (26)	3	1	12 (10)	

2. 施設整備、設備整備の状況

(1) 施設整備の状況（費用30万円以上）

改修工事名	改修年月	工事依頼先	工事金額	サービス区分
床改修工事	R5.7.4	松本工務店	569,800円	GHあみの
2階談話室空調設備改修工事	R5.7.7	金下建設(株)	5,610,000円	第二丹後園
給水ポンプ入替工事	R5.7.28	金下建設(株)	1,012,000円	特養丹後園
1階空調改修工事	R5.7.28	森電気工業(株)	7,700,000円	ケアハウス
トイレ改修工事	R5.7.31	(株)室野商店	350,900円	丹デイ
ボイラー修理	R5.8.31	(株)室野商店	413,600円	浜デイ
ナースコール電話更新対応工事	R5.11.2	森電気工業(株)	897,600円	第二丹後園
道路側溝改修工事 1期	R6.1.16	山崎工業(株)	7,163,200円	特養丹後園
ボイラー設備部品交換	R6.1.31	(株)室野商店	313,500円	浜デイ
下水中継ポンプ取替	R6.3.29	(株)丹後衛生公社	761,200円	ケアハウス

(2) 設備整備の状況（購入30万円以上）

購入物品名	購入日	購入先	購入金額	サービス区分
事務所増設工事	R5.5.30	金下建設(株)	4,763,000円	第二丹後園
車両	R5.10.13	上古モータース	5,045,290円	丹デイ
小型分包機	R5.7.31	(株)石坪	1,871,760円	第二丹後園

物置設置工事	R5. 9. 29	まるふく産商 (株)	342, 320 円	ケアハウス
給湯器入替工事	R5. 12. 29	(株) 室野商店	477, 400 円	丹デイ
除雪機	R5. 12. 29	(株) A H S S	400, 000 円	桃山
給湯器取替工事一式 (特浴)	R6. 3. 29	(株) 室野商店	314, 050 円	第二丹後園
給湯器取替工事一式 (皐月)	R6. 3. 29	(株) 室野商店	314, 050 円	第二丹後園

3. 寄付の状況

寄付者	日時	寄付金額	寄附の目的
利用者の家族	R5. 4. 25	100, 000 円	社会福祉事業のため
利用者の家族	R5. 11. 14	50, 000 円	社会福祉事業のため

4. 労務管理の状況

職員の年次有給休暇の取得状況

事業	対象人員	一人平均 給付日数	一人平均 取得日数	年休消化率 (%)
法人全体	1 9 1 人	3 3. 9 日	1 2. 7 日	3 7. 5 %
特養部	3 5 人	3 2. 3 日	1 4. 1 日	4 3. 7 %
第二特養部	4 8 人	3 4. 4 日	1 3. 1 日	3 8. 1 %
在宅部	4 2 人	3 2. 7 日	1 0. 9 日	3 3. 3 %
ケアハウス部	1 4 人	3 6. 4 日	1 3. 2 日	3 6. 3 %
地域福祉部	5 2 人	3 3. 8 日	1 2. 2 日	3 6. 1 %

5. 実習の受入状況

実習種類	学校・機関名	人数	実習期間
福祉施設実習	舞鶴YMC A国際福祉専門学校	1	7/28~8/10
介護等体験	京都府社会福祉協議会	1	1/8~1/12
相談援助実習	豊岡短期大学	1	1/15~2/16

6. 庶務部 事業報告 (総括)

職員の人材育成、スキルアップを目的とした支援では、教育訓練給付金を8人の職員が利用され、介護福祉士資格取得(4人)、介護職員実務者研修(1人)や介護支援専門員実務研修等(3人)など、資格取得及びスキルアップにつながりました。

施設及び設備の整備については、より効果的な整備になるよう、各事業所の予算段階から導入効果の検証に努めました。

補助金等については、京都府から主に「新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業助成金」により感染予防対策のための消耗品の購入や、療養者の支援を行った者に対し慰労金を支給しました。その他に京都府から「京都府医療機関等物価高騰対策事業交付金」として、光熱費支援事業と食材費支援事業により交付を受け、京丹後市から「京丹後市エネルギー価格高騰対

策支援給付金」の活用により、事業所光熱費対策事業と運輸車両等燃料費対策事業の交付を受けました。

今後も各事業の状況を適確に把握し、安定した運営となるように、庶務部として尽力していきます。

トランスファー委員会 事業報告

1. 取組総括

今年度は、年間5回の委員会を開催しました。ご利用者の希望やニーズに合った生活をしていただけるように、また、残存機能を活かした移乗方法を職員が習得できるように、実践を中心に技法を学びました。また、技法を学ぶことで、職員の腰痛防止の取組にもつながったと思います。

2. 取組内容

毎年行っていた新人研修は、職員不足の観点から中止とし、委員会で習得した技術を各事業所に持ち帰り、職員に伝達をする方法をとりました。在宅サービスはケア会議等で伝達することができましたが、特養はユニットごとの会議開催となるため、全職員に伝達できないという課題が残りました。

今年度は、職員が容易に移動や移乗ができる技法の習得ができることを目指しました。ベッド上での移動、ベッドから車椅子等への移乗、車椅子の後部にしっかりと座る技法などを学びました。画像でポイントを確認し、何度も繰り返し実践を行うことで、移乗のコツと身体の仕組みに応じた技法を習得すれば、小柄な職員が大柄なご利用者を容易に移乗することができることを学びました。また、トランスファーを受ける疑似体験を味わうことで、不安や恐怖心がどのポイントにあるのかも考える機会となりました。

3. 令和6年度に向けて

介護職にとってトランスファーの技術の習得は欠かせないことですが、習得した技術を全職員に伝達する機会が少ないこと、ご利用者のニーズに合わない場合もあることから、令和6年度は委員会を休止することとなりました。

認知症委員会 事業報告

1. 取組総括

認知症についての知識や技術を深め、認知症になった人の気持ちや、介護する家族の気持ちを理解することで、質の高い福祉サービスの提供ができるように努めました。

2. 取組内容、

今年度は、京丹後市における認知症の方の現状確認、認知症高齢者の見守り事業など、地域の取り組みを確認することや事例検討などをおこなうことで、認知症に対する知識の向上をおこないました。

また、認知症啓発活動として文化祭に参加し、「認知症カルタ」の実施により、地域の皆さんと多くの交流を持つことができました。

3. 令和6年度に向けて

法制度の理解を深め、地域で困っている認知症の方を支えるサービスについて学び、委員会として何ができるのかを考えます。また、地域社会全体に認知症について、正しい理解や知識を広められるよう認知症啓発活動を検討します。

事例検討やケアメソッドについて学ぶ機会をもうけ、認知症のケア力向上を目指します。

安全運転委員会 事業報告

1. 取組総括

職員個々の安全運転意識の向上に努め、交通事故・交通違反ゼロを目指し活動しました。

2. 取組内容

(1) 会議について

交通事故・交通違反に係る情報を共有し、交通事故等を未然に防ぐための活動に努めました。

また、公用車両の整備状況等の確認を行い、安全な運行に努めました。

(2) 車両の点検・整備について

各車両担当者は、週1回の車両点検を行い、整備や修理が必要な場合は、その手配を速やかに行うことができました。

年2回のタイヤ交換を安全運転委員で行い、車両整備の理解を深めることができました。

(3) 安全運転意識向上への取組について

① 安全運転講習会について

運転経験の浅い職員・ベテラン職員・新人職員を対象に、外部講師による安全運転講習会を実施し、運転時に気をつけるポイントを学びました。

② 安全運転への啓発について

啓発運動の期間を、書面及びパソコン共有画面を用いて周知しました。

③ セーフティラリーへの参加

安全運転意識の向上を目指し、全職員が京都府セーフティラリー又は法人内セーフティラリーに参加しました。(7月1日～9月30日の3か月間)

・京都府セーフティラリー

(参加者) 40人中無事故・無違反達成者：38人

・法人内セーフティラリー

(参加者) 138人中無事故・無違反達成者：134人

3. 令和5年度の業務中及び通勤途中の交通事故・交通違反について

令和4年度と比較して、交通事故・交通違反件数は同じでした。大半の交通事故は

送迎中のバック接触事故、交通違反は業務中の一旦停止違反でした。安全運転委員会では、交通事故・交通違反ゼロを目指し、これからも安全で円滑な運転業務の実現に向けて取り組みます。

※交通事故・交通違反件数

- ・交通事故件数 8 件(令和 4 年度： 8 件)
- ・交通違反件数 3 件(令和 4 年度： 3 件)

安全衛生委員会 事業報告

1. 取組総括

職員の安全衛生上等の課題について対応を検討し、快適な職場環境の形成を促進するための活動を行いました。

2. 取組内容

安全衛生管理体制の充実を図るために、月 1 回の委員会を開催しました。

職場環境の改善や業務内容の軽減ができるような取組を検討し、毎週水曜日は「ノ一残業デー」として、定時の業務終了を推進しました。

今年度も定期健康診断、深夜業務を行う職員が対象の特定業務事業者健診、腰痛の健康診断、ストレスチェックを実施しました。診断結果が届いた後に、産業医から個別に健康面の助言や指導を受け、心身ともに健康で勤務を続けることができるように推進しました。

感染症に対しては、新型コロナウイルス感染症が令和 5 年 5 月 8 日に、感染症の位置づけが 5 類へと変更になりました。厚生労働省からの対応通知を周知するとともに対策内容の変更等を再々検討し、罹患時の対応を統一するために書面で周知しました。

予防接種として、ご利用者、職員に 6、7 回目の新型コロナワクチン接種と、インフルエンザ予防接種を実施しました。

自然災害に対して、業務継続計画に沿って災害備品の確認をしました。

労働災害は、採血時の針刺し、転倒により頸部痛や骨折、介助中に胸部痛や骨折、感染症罹患のため(疥癬)等、合計 10 件でした。

3. 令和 6 年度に向けて

新型コロナウイルス感染症やその他感染防止対策を引き続き実施します。日々情報を把握し対策の変更や追加を検討します。

災害対応については、自然災害時における業務継続計画に沿って取り組みます。

その他、メンタルヘルスを含めた健康管理や職場環境の改善に取り組み、職場における安全衛生が向上できる委員会活動を行います。